



その世界は自然現象にとどまらなかった。彼はまた、別の種類の肖像画を生み出した。「司書」(1562年/P71)、「法曹」(1566年/P137)、「ウェルトゥムヌス」(1590年/P237)、「フローラI、II、III」(1591-1592年、フローラIは現在パリの個人蔵、IIとIIIはニューヨークの個人蔵/P243)などである。ここで描かれている像は、「四季」や「四大元素」の連作に描かれているものとは違って、無生物と生物が共存しているアニメーションのようである。



「秋」(細部)

1572年

カンバスに油彩、92.71 x 71.76 cm

米国 個人蔵